

市議会だより

おおだ



No.82

2026(令和8)年1月22日発行

祝 二十歳おめでとう



表紙の写真
久手町 三十歳の祝賀式 (石田洋治議員撮影)

 12月定例会	2
 一般質問に10人	5
 常任委員会・視察報告	10
 特別委員会中間報告	13
 おでかけトーク報告	15

12月定例会市議会は、2025(令和7)年12月1日(月)～16日(火)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



(一般会計総額 275億1,928万円)



畜産経営持続支援事業

955万円

市内畜産農家の経営継続を目的に配合飼料の給与量等に応じ補助金を交付



除雪事業

1億円

今季の除雪を実施するために要する経費

皆さんからの請願

〔不採択〕

▼政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める請願
(請願者)大田農業で元気になるうい会

可否判定の結果、賛成少数で採択せず
不採択の主な理由

・現在の国の方針に賛同する。
・全ての農家を対象とするのであれば、農業関係者の多数が賛同し、一緒に提出できる文面に改めるべきである。

会長 川村 孝信

新設条例

〔賛成多数、原案可決〕

▼大田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

〔全会一致、原案可決〕

▼大田市特定業種企業立地奨励条例制定について

選挙

〔当選〕

大田市選挙管理委員会委員及び同補充員

○委員

石橋 富士子(仁摩町)

白井 泉(温泉津町)

川上 節夫(静間町)

松岡 妙子(久手町)

○補充員

浅原 豊(仁摩町)

龍 文子(大森町)

杉本 博文(温泉津町)

田平 志津子(長久町)

12月定例市議会



一般会計
補正予算

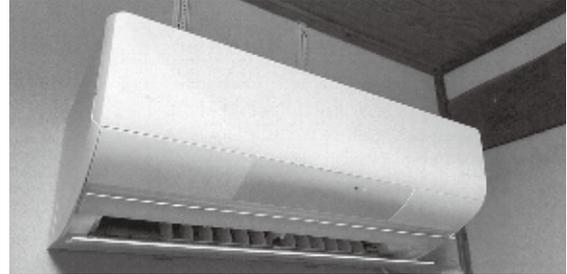
補正額 11億7,366万円

主な補正内容



物価高対応子育て応援手当
支給事業 1億3,487万円

物価高の影響を受けている子育て世帯への支援として、こども1人あたり3万円を支給
[対象者]平成19年4月2日から令和8年4月1日までに出生した児童



省エネ家電買換支援事業
1,000万円

物価高騰による一般家庭の負担軽減や二酸化炭素排出量削減の推進のため、省エネ家電の買換えに対し補助金を交付(事前申請後、抽選)

人事案件

【異議なく同意】

▼教育委員会委員の任命につき
同意を求めぬこと

現委員である梶伸光氏の任期が本年11月28日満了のため、笠井修氏を新たに任命することについて同意を求めたもの。任期は4年。

▼公平委員会委員の選任につき
同意を求めぬこと

現委員である二柿美代子氏の任期が本年11月29日満了のため、同氏を再任することについて同意を求めたもの。任期は4年。

▼監査委員の選任につき同意を
求めぬこと

現委員である富田正治氏の任期が本年11月29日満了のため、岡田稔氏を新たに任命することについて同意を求めたもの。任期は4年。

11月19日
開催

可決

11月臨時市議会

◇ 11月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	河村賢治
■市長提出議案																				
議案第446号 大田市市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	13:2		○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第447号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第448号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第449号 監査委員の選任につき同意を求めることについて		同意	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数18名(現員16名)、うち議長(河村賢治)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

◇ 12月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根且和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	河村賢治	
																					議決結果
■市長提出議案																					
議案第450号 令和7年度大田市一般会計補正予算(第3号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第451号 令和7年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第452号 令和7年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第453号 令和7年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第454号 令和7年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第1号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第455号 令和7年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第456号 令和7年度大田市水道事業会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第457号 令和7年度大田市下水道事業会計補正予算(第1号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第458号 令和7年度大田市病院事業会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第459号 大田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について		可決	14:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第460号 大田市特定産種企業立地奨励条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第461号 大田市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第462号 大田市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第463号 大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第464号 大田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第465号 大田市火災予防条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第466号 大田市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第467号 大田市一般市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第468号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第469号 大田市通学バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第470号 仁摩サンドミュージアムの指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第471号 石見銀山世界遺産センター(他周辺施設)の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第472号 大森の町並み関連施設の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第473号 波根駅集会所の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第474号 静間駅集会所の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第475号 石見銀山龍源寺問歩の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第476号 三瓶ダム周辺施設の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第477号 コミュニティよずくの里の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第478号 大田市堆肥化施設の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第479号 久手地域農作業準備休養施設の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第480号 北三瓶農村ふれあいセンターの指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第481号 石見銀山世界遺産センターサテライト施設棟の指定管理者の指定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第482号 令和7年度大田市一般会計補正予算(第4号)		可決	14:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第483号 令和7年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第484号 令和7年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第485号 令和7年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第486号 令和7年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第487号 令和7年度大田市水道事業会計補正予算(第3号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第488号 令和7年度大田市下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第489号 令和7年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第490号 大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第491号 大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第492号 大田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第493号 大田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																					
議案第494号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■請願・陳情																					
請願第9号 政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める請願		不採択	3:12	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

※定数18名(現員16名)、うち議長(河村賢治)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、12月4日、5日に行われ、10人の議員が執行部に対して質疑を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)、二次元コードで閲覧できます。)



▲クリスマス会☆ (12月18日 水上保育園)

市長の決意は

未来を見据えた市政運営を進める



質問動画

ごまだひろたか
胡摩田弘孝 議員



まちで暮らしたいと思えるような人材育成も重要課題であると認識している。

そして、希望する誰もが安心して子どもを産み育てられる子育て環境の充実や、学習環境の整備による教育環境の充実、魅力的で活気のある都市環境の整備など、総合的な対策を着実に継続して取り組むことで、人口減少に立ち向かう決意である。

質問

3期目当選を踏まえ、これまでの総合計画を着実に推進する認識でよいのか。また、1、2期で実現できなかった課題や3期目ならではの重点・特徴的施策は何か。人口減少時代において、市政をどの方向へ導くのか、市長の決意を伺う。

答弁

3期目は、これまで築いてきた社会基盤と総合計画を土台に、10年、20年先を見据えた市政運営を進める。

特に産業振興を重視し、若い起業家の挑戦を支援するほか、世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年に向けた観光振興など、様々な取り組みを進める。

また、ふるさとおおだを愛し、この



▲榎野弘和市長

胡摩田議員その他の質問項目
有害鳥獣被害対策(クマ対策)

重点支援地方交付金の活用は

関係機関と連携し、効果的かつ迅速な支援策を検討



質問動画

かきだ けんじ 議員
柿田 賢次



え補助は、物価高騰対策と脱炭素推進を目的に、電力消費の大きいエアコン等の買換えを支援したもので、申請初日に132件が集中し、翌日には予算上限に達したため、「もう終わつたのか」との声もあったが、省エネ化を促進し、電気料金やCO₂排出削減に一定の効果があったと考えている。

質問 物価高騰対策による重点支援地方交付金の活用について、市として今回どのような事業、個人消費者への支援を考えているのか。
今年度実施の省エネ家電買換え補助は、6月2日開始で最大6万円と好条件だったが、翌日には予算上限に達したため、申請できない市民が多発し、早すぎるとの苦情もあった。本事業に対する市の所見を伺う。

答弁 交付金の詳細が未定のため、現時点で具体的な活用方針は定めてない。
今後、関係機関と連携し、効果的かつ迅速な支援策を検討する。
また、今年度実施の省エネ家電買換



▲エアコン



▶冷蔵庫

ふるさと納税の強化は

令和11年度には
寄附額4億円を目指す



質問動画

いとう やすひろ 議員
伊藤 康浩



あわせてSNSや公式LINE、広告を活用したデジタルマーケティングを推進し、若年層の獲得を図る。
また、米や体験型返礼品、宿泊利用券などの拡充を進め、令和11年度には寄附額4億円を目指す。

質問 15年後、大田市の人口は2万2千人から2万3千人になると予測されている。
令和6年度の個人住民税の納税額は約11億5千2百万円であり、これを15年後の予測人口2万3千人で計算すると、単純計算で3億2千万円程度の収入減が予測される。収入が下がれば、当然住民サービスは低下するため、対策として早急にふるさと納税の強化を図るべきと考えるが所見を伺う。

答弁 大田市のふるさと納税は返礼品数が少なく、市内事業者と連携した新商品開発が課題である。
今後は、商品の背景や想いを伝える「ブランドストーリー」を活用し、寄附者の共感を得る発信を強化する。



地域で頑張っている 小売店の支援は

各種支援制度を紹介し
支援していく



質問動画

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



移動販売車の購入や改修、出店支援を行っている。また、人口減少が進み、消費者が減る中、燃料や仕入れ経費などの上昇により厳しい経営課題もある。③商工団体と連携し、個別に経営相談を受けるなど、必要に応じ各種支援制度等紹介して支援していく。



宮脇議員その他の質問項目

- ・ 市政運営
- ・ 学校給食の無償化・充実

質問 生鮮食品など日常の買い物
物が難しい地域において、身近に食料品店があることは、日々の生活の安心につながり、その役割は大きい。そこで以下3点を伺う。

①各町内での小売店の役割についての認識

②大田市の買物困難者への支援の現状と課題

③厳しい経営環境の中での食料品店への支援策は

答弁 ①移動の困難な高齢者等にとつて小売店は、食料品や生活必需品など購入するには貴重な場であり、様々な情報交換やコミュニケーションを図る交流の場でもあると認識している。

②お買い物サポート事業等を実施し、

大田市駅東側の まちづくりは

賑わいと、楽しく安全な
道路空間の創出を目指す



質問動画

つきもり かすひろ
月森 和弘 議員



事業は、令和3年度に認可を受け、道路や駅前広場、公共施設を計画的に整備し、令和10年度の完了を目指して、住民の理解のもと中心市街地の活性化と良好な居住環境の形成を進めている。

栄町高禅寺線は計画延長3320mで、進捗率は58.7%。市街地環状ルートの重要な路線であり、早期供用に向け県に要望を行っていく。

質問 駅通りの新たなまちづくりは、地域住民と協議し共につくる姿勢で進められてきた。その経緯と方針を問う。

また、駅東側土地区画整理事業の進捗と想定される公共施設について、さらに重要路線である栄町高禅寺線の整備状況を問う。

答弁 大田市駅通り線は、平成24年度の社会実験や住民アンケートを踏まえ、歩行者中心の道路として再編を検討してきた。また、中心市街地活性化計画や都市再生整備計画に基づき、通過交通を他路線へ分散し、シェアスペース化により回遊性にぎわいの創出、安全性向上を図っている。

大田市駅前周辺東側土地区画整理



▲大田市駅前通り

市観光振興課と観光協会(DMO)の役割分担は

観光協会(DMO)は民間の立場で活動



質問動画

しみず 清水 議員
このみ 好



観光振興課は観光振興に関する政策の策定、事業予算の計画・執行、観光施策に関連する条例・制度の改正など、観光行政の総合的なマネジメントを行う。

次に、観光協会(DMO)は民間主体として、観光プロモーションや情報発信などを中心に活動している。そのほかにも、マーケティング活動、観光地域づくりのマネジメント、観光に関わる人材育成を担っている。

両者は相互に連携し、現状では業務の重複や連携不足はないと認識している。

質問

大田市の観光行政は、市観光振興課と観光協会(DMO)が担っているが、役割の違いが分かりにくいとの声がある。両者の役割分担や権限、事業範囲をどのように整理しているのか。

答弁

令和5年策定の新観光振興計画では、市民が豊かで幸せに暮らし続けられるまちをつくることを基本理念とし、地域経済の活性化や地域文化の保持、関係人口の拡大、定住促進といった複合的な効果を目指している。その実現には、それぞれの特徴を生かしながら役割分担することが必要であると考えている。



道の駅いせ
仁摩内の大田
市観光協会

大田市の農業振興の現状と課題は

もうかる農業の実現をめざす



質問動画

もりやま 森山 議員
こうた 幸太



業と連動しながら水稻に過度に依存した農業経営からの脱却を図っている。

②高齢化等による担い手不足などの問題に対応するため、農業担い手支援センターを中心に、就農体験ツアーや就農フェアを通じて、U・Iターン者等の就農支援に取り組んでいる。今後、大田市での就農を希望される方との相談を重ねながらマッチングを進めていく。

質問

気候変動による自然災害の増加、不透明な国際情勢、日本経済の低迷や円安の進行などの社会変化を受け、現在、食料自給率の向上や、輸入肥料、農薬に頼らない食料生産が課題となっている。大田市の農業の現状を見ると、農業従事者の数は年々減少傾向にあり、経営耕地面積も減少している。今後の農業振興について2点伺う。

答弁

①中山間地域におけるもうかる農業の実現に向け、有機栽培への転換や、アスパラガス・白ネギなど高収益作物の導入を進め、農地整備事

②農業従事者を増やすための取り組みについて



しまね就農フェア(1N東京)

持続可能な 上下水道事業の経営とは

業務の効率化や料金改定等に
取り組む



質問動画

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員



営に取り組んでいる。
下水道事業については、整備区域を縮小し進めているが、物価高騰により進捗が遅れ、料金収入も想定を下回っている。

今後は整備区域や使用料の在り方を見直し、令和8年度策定の経営戦略で料金改定の方向性を検討する。

質問 上下水道事業は人口減少や節水型機器の普及により、収入が減少を続ける一方、老朽化した管路の更新が進まず、漏水を原因とする道路陥没等、事故のリスクが高まっている。
大田市でも料金収入の減少が続く、将来の市民負担増が懸念される中、人口減少を前提とした持続可能な上下水道事業経営への見直しが必要と考えるが、所見を伺う。

答弁 公営企業は経営戦略に基づく計画的な運営が求められている。

大田市では人口減少を見据え、施設の適正化、国補助の活用、コスト削減、管路更新の効率化、県内事業者との広域連携を進め、持続可能な水道事業経



▶三瓶浄水場

スポーツハラスメント 根絶に向けた 取り組みは

安全安心にスポーツを楽しめる
環境づくりを進める



質問動画

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



技指導講習会を実施した。市スポーツ協会も毎年、指導者研修会を開催し、指導者の資質向上に努めている。
③人口減少や高齢化などにより、指導者の確保が難しいこと、また指導者の資質向上が課題である。

④指導者研修会を継続し、ハラスメント根絶を掲げた啓発ポスターの掲示など啓発活動や現場での意識向上と防止対策を強化し、全ての人が安全安心にスポーツを楽しめる環境づくりを進める。

質問 スポーツハラスメントとは、暴力、暴言、ハラスメント、差別など安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為のこと。今年、法律が改正され、暴力等の禁止について規定されたが、スポーツの場での暴力・ハラスメント等をなくしていくために、所見を伺う。
①スポーツハラスメントの実態
②指導者への研修状況
③指導者育成の課題
④今後の取り組み

答弁 ①今年度、過度な叱責や不適切な言動に関する相談・報告が数件あり、聞き取りを行い、指導内容や方法の改善を促すなど個別に対応した。
②令和6年、7年それぞれ講演会や実



▲公益財団法人日本スポーツ協会が作成したロゴマーク

石田議員その他の質問項目
予防医療の推進

現庁舎耐用年数に 疑問

平成21年調査と島根県
西部地震を受け判断



質問動画

わだしゅういちろう
和田章一郎 議員



修と定期改修を実施しており、築60年を超えているが、直ちに建替えの必要はないと判断している。

質問

庁舎問題は新庁舎建設ありきではなく、耐震や長寿命化など低コスト手法を検討するため再調査すべきと考える。標準耐用年数60年を根拠に新築が合理的とするが、60年を超える大田市立第一中学校との整合性に疑問が残るが市の所見を伺う。

答弁

平成21年の調査の時点で躯体の劣化が相当に進んでいた。その後の経年劣化や、島根県西部地震でも被害を受け、再度、同様の調査を行うまでもなく、現庁舎の耐用年数が60年を超える可能性は極めて低いものと判断する。

第一中学校は、平成22年に耐震化工事と大規模改修を実施のほか、昭和60年に屋上の防水、平成4年に外壁の改



▶大田市立第一中学校

和田議員その他の質問項目

- ・市長選挙
- ・3期目の市政運営
- ・特定業種企業立地奨励条例

常任委員会報告

付託案件の主な審査内容

◎委員長 ○副委員長

総務教育委員会

◎胡摩田弘孝 ○伊藤康浩 石橋秀利 河村賢治 松村信之 和田章一郎

(政策企画部・総務部・消防部・出納室・教育委員会・他の委員会に属さない事項)

国県補助金等返還金【わくわく島根生活実現支援事業費補助金】(まちづくり定住課)

東京圏から移住し、就業、起業等する方に補助金を交付しているが、令和2年度移住支援金受給者の転出に伴い、補助金の半額返還の要件に当たることから県補助金を返還するもの

問 今までの活用状況や継続性はあるのか。

答 現在、8件15名がこの事業を活用され、東京圏から移住している。国・県は継続的な支援を考えており、今後も事業を継続したい。なお、返還金は本人がすでに全額返済している。

意見 国の事業を活用し、一人でも多くの方に大田市に定住して頂くよう継続した取り組みをしてほしい。



・一般会計補正予算、その他議案7件について、いずれも原案どおり可決されました。

民生委員会

(健康福祉部・環境生活部・市立病院)

◎森山幸太 ○月森和弘 石田洋治 小川和也 宮脇康郎

障がい者医療給付事業(地域福祉課)

生活保護受給者の人工透析患者増等による増額補正

問 人工透析の患者は、全体的に増えているのか。

答 更生医療を使っている人で透析を受けている人は、令和4年で133名、令和5年で126名、令和6年で103名と減少したが、令和7年度に入って118名で少し増えている。

意見 早期発見・早期治療のために、健康診断などの啓発に努めてほしい。

国県補助金等返還金(健康増進課)

令和6年度実施事業の確定に伴う国県補助金の返還

問 健康診断について、次年度に向けての取り組みを教えてください。

答 個別勧奨はするが、広報やSNSも活用しながら、健康診断を受けていただけるよう今後も取り組んでいきたい。

・一般会計補正予算、その他議案9件について、いずれも原案どおり可決されました。



産業建設委員会

(産業振興部・建設部・上下水道部・農業委員会)

◎根宜和之 ○塩谷裕志 小林 太 清水 好 柿田賢次

大田市特定業種企業立地奨励条例(産業企画課)

不足する業種として、書籍・雑誌小売業の立地を促進することにより、経済循環、消費機会の市外流出の防止はもとより、知識や文化に触れる機会を提供することで市民生活の質の向上を図ることを目的とする。

問 市立図書館内に書店を入れることは考えなかったのか。ある程度大手企業を誘致する条件とも受け取れるかどうか。

答 他自治体を視察し、事業者にもヒアリングを行ったが、現図書館の規模では難しいとの結論になった。また、公募については、書店経営の厳しさを考えると、ある程度の経営安定性や実績を求めることも審査項目の一つとする必要があると考えている。

問 支援期間を10年とした理由を教えてください。ほぼ1社に対する補助となるが独占禁止法に抵触しないのか。

答 長期間にわたり営業して欲しいとの考えから10年とした。独占禁止法については、公正取引委員会に問い合わせたところ、「きちんと公募して門戸を開き審査を設けることが非常に重要であり、公募による選定であれば1社でも問題はない」と言われたので、いただいた助言に沿って対応していきたい。

意見 他の自治体に先駆けての先進的な取り組みとして評価する。産業振興の面だけでなく、文化や教育、まちづくりなど市民の生活の質の向上にも繋がることを周知し、市民の理解を得て頂きたい。

・一般会計補正予算、その他議案等15件について、いずれも原案どおり可決されました。



常任委員会視察報告

総務教育委員会

日時：令和7年11月11～13日

視察事項

- ・高知県高知市
（ノーコード宣言シティーの取り組み）
- ・香川県三豊市
（フリーアドレスに関する取り組み）
- ・愛媛県総合教育センター
（メタサポキャンパスの運営）

◆委員長 胡摩田 弘孝

高知県高知市

「ノーコード」とは、自治体のDX推進を加速する目的でプログラムを実施するもので、特にプログラミンの知識がなくてもアプリやwebサービスの開発ができるため、行政職員や市民がノーコードツールを通じて効率的な業務改善や地域活性化に貢献できるように、地域全体でデジタル化を進め、持続可能なDX推進を目指している。

業務時間の削減、業務効率の向上、コスト削減など、結果的には職員の業務負担の軽減につながった。

香川県三豊市

業務効率向上のため「組織運営体制」の改革と、デジタル技術の導入促進を目的とした「オフィス改革プロジェクト」を立ち上げ、職員間のコミュニケーションの改善とペーパーレス化による業務生産性の向上の実現に向け、フロアを改修し、連携がしやすい大部屋方式のフリーアドレスを採用した。Wi-Fiの導入などICTツールを同時に整備することで、業務内容に合わせて働く場所を選ぶことを選んだ。実現した。

今後予定されているオフィスのあり方、活用の参考にしたい。



▲三豊市役所内

愛媛県

自宅から出られない児童生徒がメタバース（仮想空間）で学び、ガイアタウン（ガイアリンク会社が配信するソフト）を活用した空間上で授業やテスト等を実施している。

こうした支援でつながりを作り、次のステップへ進むサポートを行っている。家から出られない児童生徒との関係性を保つヒントになった。

民生委員会

日時：令和7年10月22～24日

視察事項

- ・愛知県大府市
（認知症に対する不安のないまちづくり推進条例）
- ・愛知県豊明市
（健康増進のための乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」）
- ・岐阜県大垣市
（大垣市民病院経営強化プラン）

◆委員長 森山 幸太

愛知県大府市

高齢化の一層の進展により、認知症が原因で生活の不安を抱える人は今後増加すると見込まれている。平成19年に発生した認知症の人の鉄道事故は、認知症の人を介護する家族の監督義務の有無をめくり、最高裁判所まで争われた。この事故から10年後に制定された条例である。

大府市は、「認知症サポーター養成2万人チャレンジ」を令和4年度に達成するなど、市全体として認知症に対する理解を深める活動をしている。

また、医療・介護の提供、連携の推進として、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり連携協定」の締結など、認知症本人、家族の支援も充実している。

愛知県豊明市

高齢者等の外出促進に貢献するデマンド型交通であり、民間企業が事業主体となり、エリアサポーターによる協賛を得ることで採算性を向上している。

また、健康寿命延伸に寄与するサービスを展開する民間企業と連携し、高齢者向けサービスの創出や活用支援体制を構築しており、大府市においても、今後の参考にしたい。



▲チョイソコとよあけ

岐阜県大垣市

西濃医療圏域における中核的基幹病院として機能しており、病院経営指標は、経常収支比率98%、医療収支比率102%、修正医療収支比率101.3%と非常に高い比率となっている。

経営改善として、院長をはじめとする経営ミーティングを頻繁に行うことや、診療科別ヒアリングの実施、適正単価による価格交渉を行っている。

今後の病院経営に活かしてほしい。

産業建設委員会

日時：令和7年10月28～30日
視察事項

- ・岐阜県郡上市
(チームまちやプロジェクト)
- ・岐阜県高山市
(廃校舎を活用したウイスキー蒸溜所設立プロジェクト)
- ・岐阜県下呂市
(バイオコークス製造プロジェクト)

◆委員長 根宜 和之

岐阜県郡上市

空き家再生に特化し、所有者との契約、建物改修、入居者募集など一元的管理を実施している。

改修費用と維持管理費は、郡上市と郡上八幡産業振興公社の共同出資による「空き家活用基金」を充当しており、改修費用の回収は、建物を所有者から10年間借り上げ、入居者からの賃料と所有者へ支払う賃料との差額収益により、回収する仕組みである。

大田市においても、民間業者への委託も視野に入れ、中心市街地活性化に向けた新たな発想の取り組みを進めるべきである。

岐阜県高山市

廃校となった旧高根小学校を活用

し、民間事業者とウイスキー蒸溜所を設立し、雇用や観光を創出している。改修費・修繕費は全て事業者負担、市は施設現状渡しで低額賃貸としている。官民連携による地域活性化の成功例として参考になった。



▲ウイスキー蒸溜所（高山市）

岐阜県下呂市

植物性バイオマスを原料とした固形燃料であるバイオコークスは、高密度・高強度な特性を持つため、長時間燃焼し、安定した燃料として使える次世代のエネルギー源である。

下呂市の取り組みにおいて、特に注目すべきは、畜産が盛んな地区において課題となっている「牛糞」を使った点にあり、同じ牛糞を原料にするメタンガス発電と比較して、残渣が全く出ない、匂いがほとんどしないなどの利点がある。

大田市も畜産が盛んな地域であり、牛糞等の処理には手間とコストがかかるため、こうした新技術を導入し、循環型社会の構築に向けて取り組むことが必要だと感じた。

新庁舎建設調査検討 特別委員長中間報告

〔9月25日開催〕

委員長 石田 洋治

建設部長、担当課長ほかの職員が出席し開催した。

7月開催の市民説明会について

市民が一番心配しているコストについて伺いたい。

答 立体駐車場については、3階から2階の構造とし、延べ床面積は8200㎡から7000㎡に縮小するなど81億円から85億円を超えるような調整している状況。また、素材や機能的なもの、ランニングコストなど、最大限事業費が抑えられるよう調整している。ただし、面積を減らしているが、一方で資材単価、人件費が上がっているため、その点なども考慮して、今年度中には概算事業費を出していきたい。

基本設計の状況等について

問 この建物は職員数を何人と想定しているのか。

答 令和7年2月の定員管理計画では、現在職員数は不足している現状を踏まえ、また、面積を7000㎡と想定していることから、310人

から320人を想定し、執務室を検討している。なお、将来人口については複数の推計値があるが、2万人前半での人口を想定している。

問 トイレ設置についての算出方法は。

答 利用人数を職員数、男女比1対1、来庁者見込みで各フロアに割り当てという計算式で算出している。なお、ユニバーサルデザイン計画として、形状は洋式が基本で、障がい者への配慮から多機能トイレを検討している。

問 分庁舎方式については、図書館、国交省の建物へという提案だが、もう少し進めるべきではないか。

答 公共施設の適正化という観点から、市が所有する施設では図書館、処理場。松江国土事務所については、本庁舎に近い位置で現場にすぐ行ける施設であることから検討している。建物の耐用年数、セキュリティ等の改修費用、市民の利便性等精査を重ねたうえで提案しており、これ以上は難しいと考えている。

意見

・議員が職員数をもっと減らせるだろうということがあれば、行革で具体的にどの程度減らせるのか、1年でも2年でも時間をかけてきっちり議論すべきではないか。

※標記の内容は、12月定例会(12月1日)本会議で委員長報告した内容です。

議会活性化検討 特別委員長中間報告

〔11月5日開催〕

委員長 小林 太

青年協議会との意見交換会

意見交換会の内容は、議会全体としての正式な回答ではなく、個々の議論であり、議員のなり手不足解消についてなど、今後の議員活動に活かすこととした。

この意見交換会については、「開かれた議会」としての活動であり、次期も取り組むべきこととした。



▲青年協議会との意見交換会の様子

政務活動費

項目別支出案分率案について、正副委員長で更に検討し、全国市議会議長会Q&Aでの判例も参考にし、事務局ともすり合わせを行った。

平成25年に制定した大田市議政

務活動費取扱要項を基本とし、案分率(案)も今後の報告書提出での参考資料として扱えるように議論を進める。

増額については、賛否が拮抗しており、来期に申し送りすることとした。

議会活動広報

大田市公式LINEのリニューアルを行っており、その中で大田市議会のリッチメニューの作成依頼をした。イメージは、場面下部にメニューを設定し、ワンクリックすると市議会のホームページへ接続され、その内容や一般質問のYouTubeが見られる。

これに対し、出来るだけ検索しやすく、情報を得やすいようにするべきだとの意見があった。

会派制

以前の議論では、メリットが少ないという見解もあったが、県内で会派制をとっていないのは、大田市議会だけであることから、改めて議論をした。

メリットは、より責任や勉強の機会が生まれるということや、政務活動費を会派別に活用出来ること、代表質問が導入出来ることがあげられた。

一方、デメリットについては、個人の意見が反映されない場合もあることや、会派の入退会は議長に届け出が必要であるなどの意見もあった。

行財政改革 特別委員長中間報告

〔11月19日開催〕

委員長 松村 信之

副市長・総務部長・環境生活部長ほか、担当課長が出席し開催した。

大田市公共施設適正化計画の進捗について

計画の進捗状況は。

〔答〕令和6年度は目標12%に対し8.83%、令和7年度末の見込みは、目標13%に対し9.57%。また、建物解体には至っていないが用途廃止を終えたものは、目標13%に対し16.47%となる見込み。今後は、目標進捗の見直し、及び、用途廃止済み施設及び廃止予定施設の除去に対し、地方債の活用を検討していきたい。

〔問〕隣保館の解体と新築をセットで予算化されていると思うが現状は。

〔答〕新しい施設ができて建て替えが完了すれば解体予定。解体については起債を使うが、建て替え後の床面積が増加するため、交付税措置は対象外。建設は、国の補助金と過疎債を活用しながら進める。

〔問〕令和9年度以降の交付税措置は。〔答〕起債の制度は、令和9年度以降も

継続されると思っている。仮に令和8年度で打ち切られた場合、過去の起債制度を踏まえると、設計まで終えていけば対象になると考えている。

可燃物収集運搬等業務委託について

〔問〕民間委託するメリットは何か。

〔答〕直営での課題は、人員確保とコスト。民間の経営ノウハウを活用した柔軟な取組みに期待している。高齢者のゴミ出し支援なども民間活力を期待している。

〔問〕プロポーザルの対象はどこを想定しているか。

〔答〕対象は、大田市長から運搬許可を受けている業者に限定している。多くは市内業者で、若干県内他市はいるが県外はない。許可業者は市内に営業所等があることが要件。

〔問〕民間委託では、収支が取れなくなると住民サービスが低下する懸念があるが。

〔答〕廃棄物の処分は行政が責任をもって行うことが定められている。民間のノウハウを活用するが、行政の責任自体は今後も変わらない。

意見

最近雇用面でも民間委託は厳しい状況であり、市として業務の効率化を図りつつ、サービスの低下を防ぎ、さらに、職場環境の充実に図ってほしい。

11/10(月) 開催しました

おでかけトーク



大田高校2年生有志のみなさんと意見交換をしました

今回は、選挙権年齢の18歳への引き下げを踏まえ、「若者の議会活動に対する認知度の向上」を図るとともに、「若者の考えを政策・提言に反映させる」きっかけづくりとするために、大田高校の生徒会役員を中心とした高校生のみなさんと開催しました。

当日は「**持続可能なまちづくり**」を主なテーマとし、住み慣れた地域の魅力や住み続けるための提案について意見交換をしました。

高校生との意見交換は初めての取り組みでしたが、地域に関する課題や思いをたくさん話し合い、活発な意見交換となりました。



【主な意見】



「住み慣れた地域の魅力」

- ・ 地域の人とのつながりが深い。登校中に挨拶を返してくれる。
- ・ 自然豊かで野菜やアナゴなどの魚介とお肉などいろいろな物の魅力がある。
- ・ 石見神楽などの文化や温泉がたくさんある。
- ・ 世界遺産石見銀山遺跡がある。
- ・ 人が優しい。海がきれい。空気がおいしい。

「住み慣れた地域にあったらいいな」

- ・ 本屋
- ・ テスト期間中誰もが利用できる学習スペース
- ・ 寮までの通りに街灯が少なく暗い。安全に帰れるようにしてほしい。
- ・ 駅周辺に遊ぶ施設が欲しい。
- ・ 列車の本数を増やしてほしい。
- ・ 広い年代が気軽に遊べる場所



「住み慣れた地域に残りたい、そして、住み続けたいと思えるには」

- ・ 働く場所を増やしてほしい。
- ・ 「人と人の絆が強い」という地域の良さを維持し続けてほしい。
- ・ 住環境や子育てしやすい環境を整えてほしい。
- ・ 大田の魅力を知ってほしい。
- ・ にぎやかで活発な街になってほしい。
- ・ 大田にどんな仕事があるか、情報がほしい。
- ・ 交通環境を整えてほしい。



2026

あけましておめでとうございます



議会を傍聴してみませんか

次の定例会の予定は**3月**です。

◇市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問の傍聴がおススメです。地域や、職場のグループでの勉強会、授業の一環での見学もお待ちしています。お気軽に議会事務局までお問い合わせください。傍聴席の定員は64席です。団体での傍聴は事前にご連絡をお願いします。受付は議会事務局にて、氏名等のご記入をお願いします。

お気軽に
どうぞ！

お問い合わせ先：大田市議会事務局
(TEL:0854-83-8137)



市議会議員として通算35年以上にわたり在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったとして、石橋秀利議員が総務大臣から感謝状を贈呈されました。



総務大臣感謝状受賞

お知らせ

大田市公式LINEが
リニューアルされました。
ぜひご覧ください。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。日頃より大田市議会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

大田市議会では、市民の皆さまにより開かれた議会をめざし、議会運営の透明性向上やわかりやすい情報提供に取り組んでいます。一般質問の様子はYouTubeで配信しており、ごなたでも気軽に議論の内容をご覧いただけます。

また、大田市公式LINEでも議会情報を随時お届けし、身近な話題をタイムリーに発信しています。

これからも市民の声を大切に、皆さまとともに、より良いまちづくりを進めてまいります。本年もごつよそよくお願いいたします。

(小川 和也)

広報広聴委員会

委員長	小川 和也
副委員長	胡摩田 弘孝
委員	石田 洋治
委員	宮脇 康郎
委員	清水 好
委員	柿田 賢次
委員	伊藤 康浩

坂根印刷 納